

# 敷島北小学校 学校関係者評価書（後期）

平成28年1月29日（金）

敷島北小学校 学校関係者評価委員会作成

## 第1回 学校関係者評価委員会

実施日：平成28年1月29日（金）午後2時40分～

会場：敷島北小学校校長室

学校関係者評価委員：山本重高 雨宮清一 石橋浩二 小田切保人

中込潤一 保延浩子 坂口綾子 島 信弘 竹川雅博

学校側：校長：秋山 均 教頭：河西慶仁 教務主任：松橋 勝

### I 学校側から提案された内容

学校側から12月に実施した「教職員自己評価」及び「児童アンケート」を分析し、まとめた以下の項目についての説明を行った。

#### (1) 説明の概要

##### ① 「自己評価」（教職員アンケート）結果から

##### I 学校教育目標・学校経営について

全ての項目において「A そう思う」の評価が一番多く、引き続き学校経営が円滑に行われているといえる。特に学校経営の根幹である教育目標について、全員が同じ認識をもって日々の教育活動に取り組んでいる。P→D→C→Aサイクル「Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価・検証)、Action(改善)」については、これからも留意しながら一層の充実をめざしていきたい。

##### II 学校運営について

全体的に良好に推移している。危機管理マニュアルの理解については、今年度校内研究で「防災教育」について研究を進めてきており、防災・減災のあり方とともに、これから一層の理解が深まっていくものと思われる。

##### III 学習指導について

教材や教具を活用した授業や、家庭学習への指導等は良好に推移している。今後も児童に確かな学力を身につけさせるために、授業の内容を再確認し、着実に児童の学力が向上することをねらって指導に当たっていく。

##### IV 生徒指導について

職員間で生徒指導上の課題を共有した対応について良好な評価が多くなり、学校職員全体で課題に取り組んでいるといえる。生き方教育については、キャリア教育等の指導計画について改めて共通理解を図る必要がある。

##### V 地域との連携について

P T A活動を実施してきたなかで、教職員が主体的に参加できたことや保護者が協力的であったことを感じる事ができたようである。また、登下校時を含めて児童の安全確保について、地域や保護者の方々が大変協力的であると感じている。保護者からの要望等の情報収集については、工夫が必要であるといえる。

##### VI 学校の特色に関して

読書活動や児童会活動が本校の活動の一つとして定着しており、教職員も率先的に指導に当たっている様子がうかがえる。体力向上への取り組みについては、たてわり遊び等を取り入れながら楽しく体を動かす活動を行ってきており、児童の主体的な活動が多く見られていた。

②「児童アンケート結果（全体の結果）」から ＝前回及び市全体との比較＝

※前回と比較して回答者数が6名増えているため、項目の回答者数が増えていても回答率が減少している場合がある。

- 1 学校は楽しいですか
  - ・全体的な傾向は市全体とほぼ同程度であり、肯定的な回答と否定的な回答の割合が前回とほぼ同程度である。
- 2 クラス(学年)に仲の良い友達がいいますか。
  - ・全体的な傾向は前回とほぼ同程度であるものの、回答の分布に変化がみられ、友達関係に変化が生じていることがうかがえる。
- 3 こまったことがあったら、相談できる友達がいいますか。
  - ・「いない」とする回答が減少しており、この面からも友達関係の変化がうかがえる。
- 4 人がこまっているときは、進んで助けていますか。
  - ・肯定的な回答は前回とほぼ同程度であり、否定的な回答は市全体よりも少なくなっている。
- 5 学校の授業は楽しいですか。
- 6 先生はよく勉強を教えてくださいますか。
  - ・前回とは分布の状況が異なっているが、市とほぼ同程度の回答率の分布になっている。
- 7 国語の授業の内容はわかりますか。
- 8 算数の授業の内容はわかりますか。
  - ・ともに肯定的な回答は市全体とほぼ同様であるが、算数では「わからない」という回答が前回より多くなっている。
- 9 授業(勉強)でわからないことがあったら、先生に聞いていますか。
  - ・肯定的な回答と否定的な回答の分布傾向はあまり大きく変わっていない。
- 10 こまったことがあったら、相談できる先生がいいますか。
  - ・市全体とほぼ同様の傾向であるが、「いる」という回答が市全体を上回っている。
- 11 授業中に質問や意見を言っていますか。
  - ・市全体と比較して発言に対して消極的な面がみられる傾向にある。
- 12 宿題を忘れずにしていますか。
- 13 月曜日から金曜日までは、学校以外で学年の目標時間の勉強をしていますか。
  - ・宿題と目標時間の学習ともに、肯定的・否定的の回答の傾向は市全体の傾向とほぼ同様である。
- 14 家の人と学校での様子を話していますか。
  - ・市全体とほぼ同じ回答率分布になっており、肯定と否定の割合は前回とほぼ同様である。
- 15 月曜日から金曜日までは、何時くらいに寝ますか。
  - ・市全体とほぼ同様の状況であるが、前回と比較すると就寝時間が遅くなっている傾向がみられる。
- 16 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
  - ・前回とほぼ同様の傾向であるが、参加しているという回答が市全体よりやや低くなっている。

17 朝ごはんを食べて登校していますか。

- ・全体的な傾向は前回と同様であり、市全体ともほぼ同様の傾向になっている。

18 地域の人と出会ったらあいさつをしていますか。

- ・「よくしている」の回答が高い傾向が保たれており、市全体を上回っている。

19 月曜日から金曜日までは、家や図書館などで、一日あたりどのくらいの時間、読書を読みますか。

- ・「2時間以上」の児童が市全体を大きく上回るなど、全体的には読書に親しんでいるものの、その一方で「まったくしない」も増えている面がみられる。

20 将来の夢や希望をもっていますか。

- ・全体的な分布や傾向は市全体とほぼ同様である。

21 学校のきまりや約束ごとを守っていますか。

- ・肯定的な回答の割合は高い状態で維持され、とくに「よく守っている」は市全体を10ポイントほど上回っている。

22 清掃活動をしっかりしていますか。

- ・肯定的な回答の割合は前回とほぼ同じで、市全体とほぼ同様の分布を示している。

23 委員会活動にしっかり取り組んでいますか。

- ・否定的な回答が0%であり、やるべきことに真面目に取り組んでいる姿勢が定着しているといえる。

【以下 学校オリジナル設問】

25 本を読むことが好きですか。

- ・90%近くの児童は読書に対して好意的な回答を示している。

26 先生や友だちの話をしっかり聞いていますか。

27 自分の考えを先生や友だちにしっかり話していますか。

- ・「話をしっかり聞くこと」については全体的な傾向に変わりがないが、「しっかり話すこと」には消極的な回答が多くなっている。

### ③「保護者アンケート結果」から =前年度及び市全体との比較=

- ・市全体と比較して、ほぼ同様の回答率の分布を示している。
- ・「16. 学校は、子ども達に学校外でも挨拶をするように指導していると思う」「17. 家族で互いに挨拶をするようにしていますか」「18. ご家庭では、お子さんに地域の人々と出会ったら挨拶をするように言っていますか」の「挨拶」に関する項目は、市全体よりも「よくしている」の回答率が高かった。
- ・「25. お子さんは、家庭で学校の話を読みますか」については、肯定的な回答が前年度よりも少なくなっている。
- ・「13. 家庭での自主学習」「17. 家庭での互いの挨拶」「20. P T A活動への参加」「21. 子どもの将来の夢や希望」「23. 学校行事や児童会行事」の項目は、前年度と比較して「A」の回答が増えている。
- ・「14. お子さんには、困ったことがあった時に相談などのできる友達がいますか」について、30人（12.9%）の回答が「わからない」となっている。
- ・「6. 学校は、子ども達の間違った行動などに対して、指導していると思う」「11. 学校は熱心に授業に取り組んでいると思う」「16. 学校は、子ども達に学校外でも挨拶をするように指導していると思う」の項目についても、「わからない」との回答が多くなっている。

## (2) 今後の方針（改善策）

### ①「自己評価」（教職員アンケート）結果から

- ・全体的に良好な回答が多いものの、ごく少数ではあるが「ややそう思わない」の回答が見られており、各々が学校組織の一員としての意識をさらに高くもち、共通理解を図りながら、より良い学校運営をめざしていきたい。
- ・生徒指導に関わることに對して「そう思う」の割合が減少している面があるが、校務分掌による児童との関わりが異なる点はあるものの、それぞれの立場においてできることを再確認し、児童に寄り添いながら指導にあたっていく。

### ②「児童アンケート」結果から

- ・「D」の回答がされている項目について、その状況や実態を確認するとともに、より一層児童とのつながりを密にすることを意識しつつ、全校体制でその解消に取り組んでいく。
- ・市全体の結果とほぼ同程度の回答分布であるものの、本校の前回の結果より低下している傾向がみられものについては、アンケート結果を検証し、さらに目配りや心配りをして来年度につなげていきたい。
- ・児童が自信をもって楽しく学校生活や日常の諸活動に励んでいけるように、児童の状況を把握し、それを共有したうえで、教職員がより細やかな指導や働きかけを行っていく。

### ③「保護者アンケート」結果から

- ・「わからない」と回答した項目のうち、学校の指導や活動に関することについては、さらに情報発信や家庭との連携を図って、共通理解の上で指導にあたっていきたい。児童の様子に関することについては、保護者に児童理解の啓発を折にふれて行っていきたい。
- ・「学習指導」について、児童は高い評価をしているのに対して、保護者の評価は低めになっている。保護者の期待や希望をくみ取りつつ、学習の様子を家庭に伝える機会を増やしなが、学校への理解も深めていきたい。
- ・「挨拶」については、学校で重点的に指導しているところであるが、家庭でも高い評価を示しており、相乗的な効果がみられる部分である。こうした面を他の部分でも広げていきたいところである。
- ・アンケートのなかで「D」と評価されたものについて、保護者と学校がともに手を携えて児童の成長に寄与できるように、その背景を考察し改善を図っていきたい。

## II 協議された主な内容（評…評価委員 学…学校側）

学校関係者評価委員会に先立ち、5校時間帯に授業参観の場を設け、学校の現状、児童の様子などを観察していただいた。また、本年度取り組んだ「実践的防災教育推進事業」の取組の様子を説明し、VTR（ニュースで放送された番組）を視聴していただいた。全学年を授業参観することで、学年が上がるにしたがって、落ち着きが増している様子がわかり、6年間の学びの成果が感じられたという感想が出された。

### ①防災教育への取組について

評…避難訓練なども経験と年齢が増すごとに上手にできるようになってほしい。子供たち同士で避難訓練の反省をして、次にどうすればいいか考えさせることが大切だ。高学年が低学年の面倒を見ることを経験すれば、大人になった時に地域で弱者を助けるようになれる。

学…防災教育で、訓練のための訓練をしていては、実践力は身に付かない。子供たちは、訓練でできなかったことを自分なりに反省することができた。そのことがとても大切である。はじめはできないことが多いが、繰り返し経験することによって、できるようになってきている。防災教育を通して、主体的に考え、行動する児童になることを期待している。

## ②児童のアンケート結果から見えてくること

評…児童アンケートの「学校は楽しい」「友達はある」「相談できる友達がいる」の項目でC評価の児童が増えているのが気にかかる。C評価をなくしていく努力をしてほしい。

学…アンケート結果には、そのときの心理状態が反映されることがあるが、何か原因があるはずである。数値に一喜一憂することなく、日常の学校生活の中でいつも気になる点を注目していきたい。

- ・読書時間に関して、2時間以上の児童が増えている反面、全く読まない児童も増えて、両極化している。学年が進行するとともに内容や読みの深さも変わるので、しっかり把握していきたい。

- ・就寝時刻も差が大きい。「早寝・早起き・朝ごはん」の指導をこれからも継続し、児童には元気に登校してもらいたい。

評…教職員の自己評価のPDCAサイクルに対してB評価が多いというような消極的な面が、児童の「授業中に質問や意見を言っている」「地域の行事に参加している」などの評価が低いことに関係しているのではないかと。もっと積極性を養うように努力してほしい。

学…グラフからすぐには読み取れないこともあるので、多様な見方が必要である。子供たちが興味をもつような授業づくりをして、魅力ある授業、魅力ある先生、魅力ある教室になるよう努力したい。

- ・生徒指導の家庭で親と児童との関わりをもつことについて。関わりの深さは、時間に比例するとは思いますが、密度の濃い関わりをして、心の交流を深めることが大切である。最近、不安を抱えている保護者も増えているので、カウンセリングをすすめたり、相談にのったりして支援していく。

評…子供は具体的に認められ褒められると自信をもって取り組むようになる。ささいなことだが、承認することは大切である。

- ・「授業でわからないことは先生に聞く」ができない子は、どうしているのか。先生に聞くこと、あいさつすることも恥ずかしくてできない子が多いのではないかと。みんなの前で、目立ってしまうことが恥ずかしいという風潮がある。

学…モチベーションを高く保てるように担任は工夫している。また、教師と対一の場面では、質問することができるので、学級全体では子供の立場を考えた雰囲気づくりも重要になる。授業でわからないことは、その授業の中でわかるようになるよう工夫したい。

## ③読書と携帯・スマホの取り扱いについて

評…興味のある本（ゲームの攻略本など）は熱心に読むが、図書館にあるような本はあまり読まない。また、小学校で習う漢字は生涯使うものなので、しっかり覚えさせたい。そのためには、親子での「回覧読書」は効果的なので、これからも続けてほしい。

学…活字に触れさせる時間をもたせることは、学校の大きな使命となっている。

興味あるものはたくさん読もうとするのは当然のことなので、学校では、定期的に読書指導をしたり、読書の時間をもったり、図書館に行く時間をとったりして本を読む楽しい時間をつくるよう工夫している。たくさん本を読んだ（読み聞かせをした）経験は、いつか生きてくると思うので、回覧読書を続けたい。特に、低学年の時期が大切なので、大型絵本などを使い、興味をもつように読み聞かせをしている。

評…辞書を引く習慣が減っているのは、パソコンやスマホを使って調べる習慣がついてしまっているのではないか。読書離れの原因は、パソコンなどにあると思われる。実態を把握するために、アンケートにスマホやパソコンの使用についての項目を入れたらどうか。学校ではスマホについての学習の場はあるのか。携帯やスマホは便利な面もあるが、危険なこともあるので、親子で考える機会をもっていくことが大切だ。

学…人間社会は、人と人とのつながりでできているので、パソコンやスマホと人間のつながりでは、子供は育っていかない。これからは、パソコンもタブレット型のものになり、調べ学習等をするようになる。6年生で、スマホの調査をしたところ、かなりの割合で所有していることがわかった。教師の方が時代に遅れている感があるので、研修が必要である。便利なツールだが、負の側面も教えていかななくてはならない。

今年度、PTAの保健環境部主催で、学校保健委員会として、県の少年課から講師を招き、親子で学習会をもった。

評…コミュニケーション能力の低下が心配される。人と話さなくてもインターネット検索すれば解決するという習慣になっていないか。社会に出てからは、コミュニケーション能力が問われる中で、孤立してしまう心配がある。人との対応ができないのは心配である。家族との対話も大切にしたい。

インターネットで調べても、文章の理解力がなければだめなので、しっかり読解力をつける勉強は重要となる。

学…担任が苦勞するのは、発達のステージや環境が個々に違うことである。どこに焦点を当てて指導していくかはとても難しい。

#### ④その他

評…大雪など学校の始業時刻の変更などのお知らせをしてほしい。

学…防災無線で流すことは市と協議したい。ホームページに掲載し、それを閲覧してもらおうという方法を広くお知らせしたい。また、安心メールの配信はできるので、回覧板等で加入者の呼びかけをしたい。

## ＜学校関係者評価書＞

### I 全体評価

- 1 教職員が自信をもって教育活動に取り組むことが、児童の積極性につながるので自己評価で「A評価」が多くなるよう努力してほしい。
- 2 「命を守り、生きる力を身につける子どもの育成」をテーマに校内研究での授業研究を通して、防災教育に取り組み、教師も児童も意識を変えることができた。
- 3 児童アンケートの「学校は楽しい」「仲良く遊ぶ友達がいる」「わからないことは先生に聞ける」などの項目で、さらに「C評価」が減り、「A評価」が増えるように取り組む必要がある。

### II 特徴

- ・今回の教職員の自己評価、児童及び保護者アンケートの結果から、全体的に「A・B評価」がほとんどを占めて、良好な結果であった。しかし、児童アンケートで「A評価」の割合が下がった項目が目立った。
- ・授業中に質問や意見を言う児童が増えてはいるものの、市全体との比較で、「授業でわからないことがあったら、先生に聞く」で、「A評価」の割合が少ない。
- ・本校は、PTA、おやじの会、母親の会などの地域の協力を得ており、子どもたちの教育環境は良好であるが、「地域の行事に参加する」という項目で、積極的な回答が市全体よりも低いので、家庭への啓発も必要である。

### III 今後の課題として意識されたこと

- ◇「学校が楽しくない」「仲良く遊ぶ友達がいらない」「困ったときに相談できる友だちがいらない」と感じている児童がいることは課題である。「Q-U検査」の結果等も踏まえて、注意深く見守る必要がある。引き続き、発達段階に応じた指導・支援に力を注ぎ、きめの細かい学級指導をしていく必要がある。
- ◇「実践的防災教育推進事業」の取組により、自主的に考え行動する力を身に付けるきっかけづくりとなったが、これからも継続して取り組んでいく必要がある。
- ◇教職員間の共通理解を図り、短期的、長期的両方の視野をもち、さらに充実した指導・支援体制を築いていくことが望まれる。
- ◇児童及び保護者のアンケート項目に、携帯やスマホ、パソコンについての項目を入れていく。

### ※特記事項

なし

記載責任者 敷島北小学校学校関係者評価委員 坂口綾子